

原油市場展望

2024年6月



調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/oil/>

目次

◆現状・見通し……………p. 2

◆トピック……………p. 3

メルマガ

X (旧Twitter)

YouTube



調査部 マクロ経済研究センター (米欧経済グループ)

副主任研究員 松田 健太郎

(Tel: 080-4176-4439 Mail: matsuda.kentaro@jri.co.jp)

- ◆本資料は2024年6月4日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。
- ◆「[経済・政策情報メールマガジン](#)」、「[X \(旧Twitter\)](#)」、「[YouTube](#)」でも情報を発信しています。

本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがあります。本資料の情報に基づき起因してご閲覧者様及び第三者に損害が発生したとしても執筆者、執筆にあたっての取材先及び弊社は一切責任を負わないものとします。

◆現状：70ドル台前半へ

2024年5月のWTI原油先物価格は、上旬にかけて70ドル台後半で一進一退。サウジアラビアがアジア向けの販売価格を引き上げたことを受けて、市場では需給が引き締まっているとの見方が強まったことが価格押し上げ要因となった一方、中東情勢への警戒感が後退したことが価格押し下げ要因に。

月半ばには、一時80ドル台乗せ。米国のインフレ率が鈍化したことで米FRBによる利下げ期待が高まったほか、ドライブシーズンでガソリン需要が増加するとの見方が強まったことも価格を押し上げ。

5月末から6月初にかけては、70ドル台前半へ下落。中国や米国の経済指標が下振れたほか、OPECプラスが10月以降の減産解除を決めたことが下落圧力に。

◆投機筋のポジションは高水準

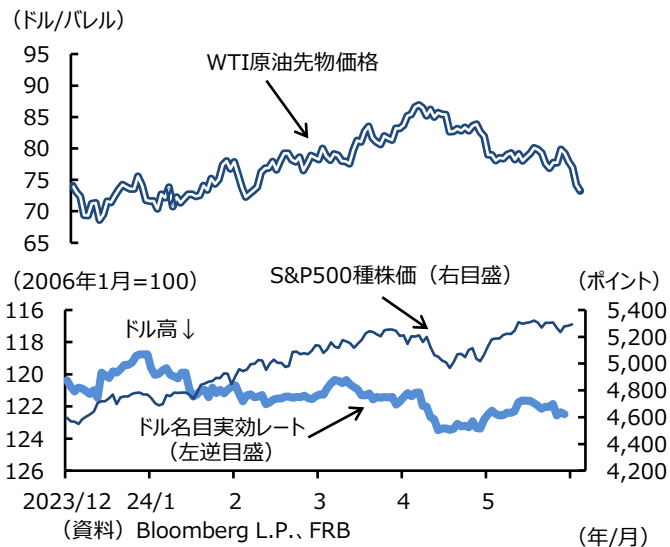
投機筋の買い越し幅は拡大。米国の利下げ観測の高まりなどが背景。総建玉も小幅増加。

◆見通し：70ドル台を中心に推移

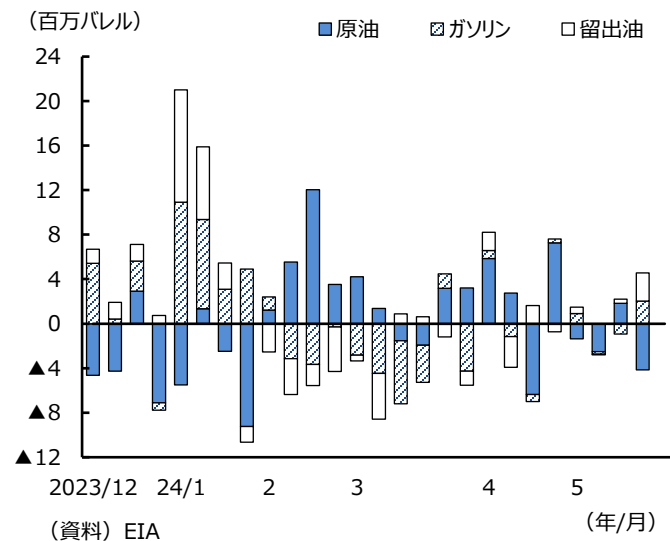
先行きを展望すると、原油価格は70ドル台で底堅い展開が続く見込み。OPECプラスの当面の減産や地政学リスクへの根強い警戒が価格を下支え。

年末にかけて、米欧などの主要国では景気が上向くものの、OPECプラスの段階的な減産解除による供給増加により、価格下落圧力が優勢となる見込み。

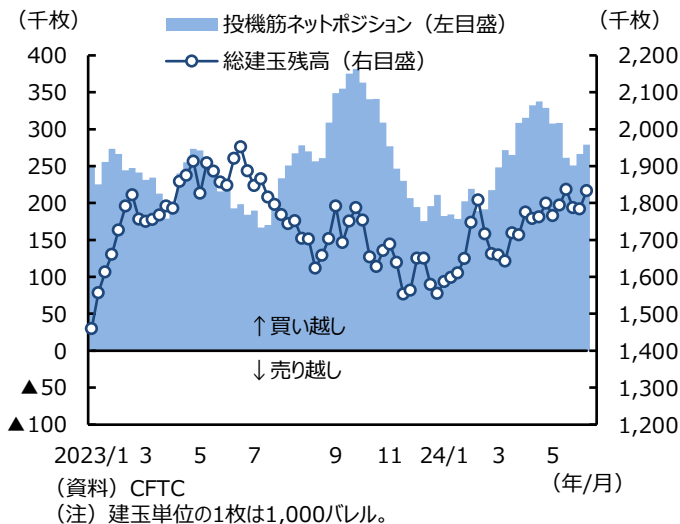
原油価格と株価・為替レート



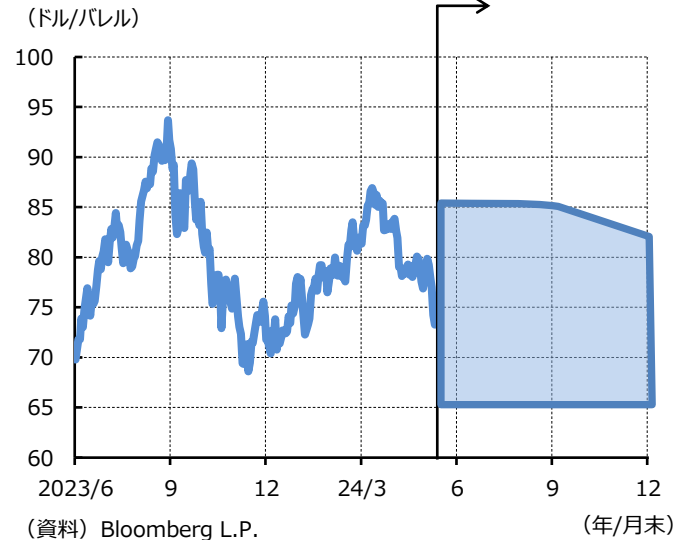
米国の原油・石油製品在庫（前週差）



WTI原油先物ポジション



WTI原油先物価格見通し



◆一部減産を年末にかけて解除

OPECプラスは、6月2日の会合で、①既往の日量200万バレルの協調減産、②2023年5月から実施している同166万バレルの自主減産、の期限を24年末から25年末まで延長することで合意。加盟国全体で価格の下支え姿勢を堅持。

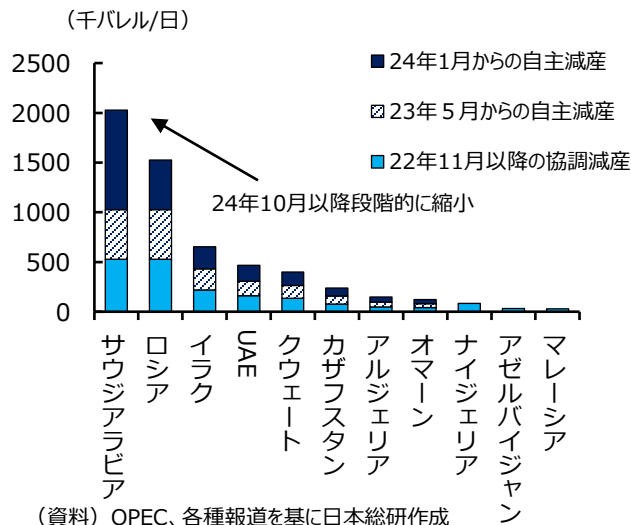
一方、2024年1月から実施している日量220万バレルの自主減産については、6月末の期限を9月末まで延長し、その後は段階的に減産量を縮小する方針。10月以降の生産量は、日量18万バレル、25年入り後はUAEの生産枠引き上げなどから同21万バレル、供給が増える計画。

こうした計画を踏まえると、世界の需給バランスは、2024年末にかけては需要超過となる一方、その後は前述のOPECプラスの減産幅縮小を主因に、大幅な供給超過に。この結果、年末から来年にかけて徐々に価格下落圧力が高まる公算。

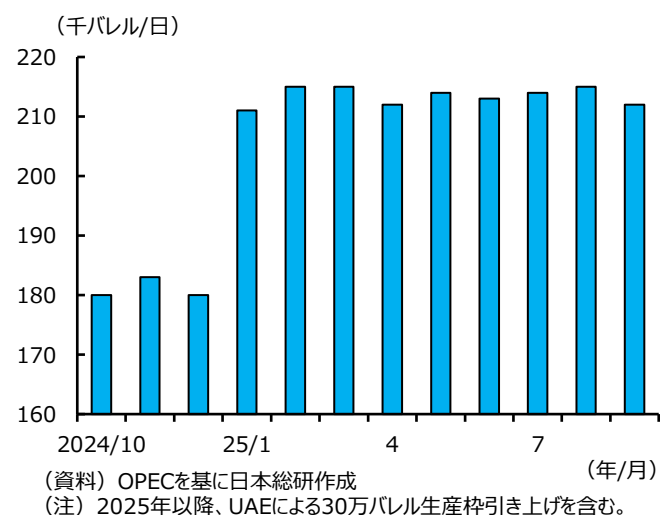
◆価格下振れリスクが増大

先行きの供給拡大が意識されやすいなか、主要原油消費国の需要下振れが原油価格の下落圧力を強めるリスクあり。2024年の需要をけん引するとみられた中国では、個人消費の不振が続くなど、景気回復ペースが弱い状況。加えて、米国でも金融引き締め長期化が需要を下押しする可能性。

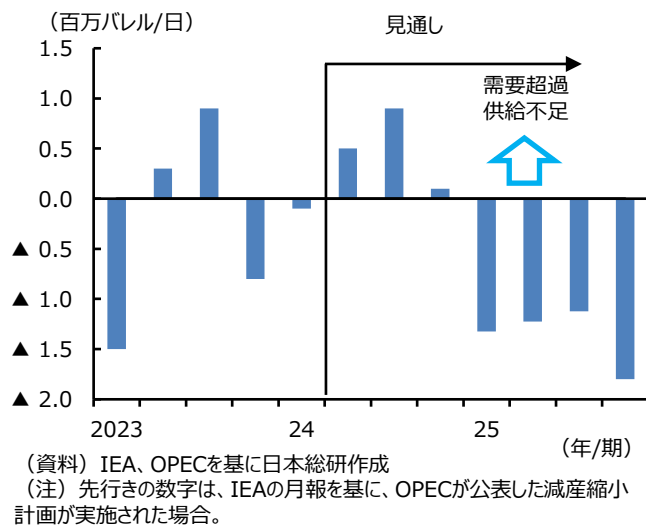
OPECプラス主要国の減産幅（5月末時点）



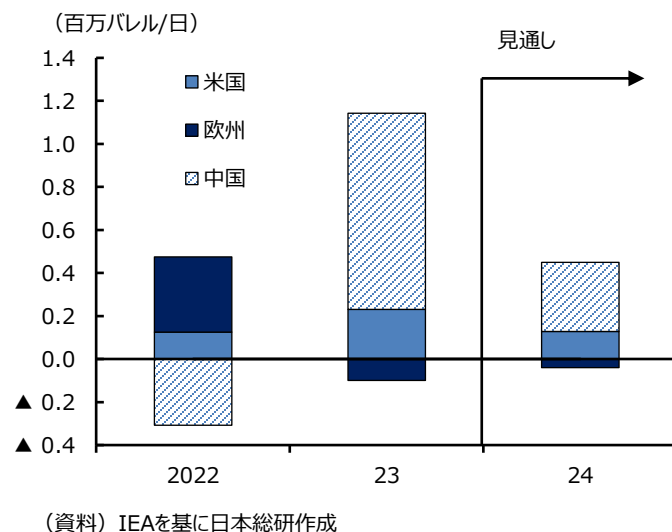
自主減産の縮小ペース（前月差）



世界の原油需給バランス



主要国の原油需要（前年差）



公表済みのレポート（欧米経済関連）

詳細は、以下のリンクからPDF形式でご覧いただけます。

リサーチアイ

- ▶ [なぜ欧州議会選挙で極右の躍進が予想されているのかー国際協調による負担が有権者の不満を蓄積ー](#) 藤本一輝 5月22日
- ▶ [グリーン関連製品の「脱中国」推進がEU経済を下押しーグリーンフレーションや中国による対抗措置の恐れー](#) 藤本一輝 5月1日
- ▶ [米国、後払い決済の延滞増が消費下押しにー信用力が低い層の4割が同決済を利用ー](#) 立石宗一郎 4月22日
- ▶ [為替需給面の変化が円高進行を抑制ー経常収支が黒字でも円高圧力を生みにくい構造にー](#) 立石宗一郎 4月11日

リサーチフォーカス

- ▶ [トランプ再選時の米国環境エネルギー政策～その展望とわが国に求められる対応～](#) 梶野裕貴 4月3日
- ▶ [トランプ氏再選は原油価格の上振れリスクー地政学リスクの増大や中長期の投資阻害が原油高要因にー](#) 松田健太郎 3月28日